

令和5年度 事業報告書

目次

1. 全体概要	1
(1) 令和5年度の社会状況	1
(2) 法人の概要	1
(3) 皆様からのご支援	2
2. 法人全体の事業	3
(1) 経営面について	3
(2) 人事面について	3
(3) 報酬外の取り組みについて	4
(4) 情報公開について	4
(5) 業務の改善について	4
(6) 専門委員会の活動	5
(7) 福祉団体を通じた地域公益活動について	6
3. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告	7
(1) 事業所の概要	7
(2) ご利用状況について	7
(3) サービスの内容	8
4. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告	11
(1) 事業所の概要	11
(2) ご利用状況について	11
(3) サービスの内容	11
5. はみんぐ 事業報告	14
(1) 事業所の概要	14
(2) ご利用状況について	14
(3) サービスの内容	14



社会福祉法人 祉友会

1. 全体概要

(1) 令和5年度の社会状況

経済分野では、5月8日に新型コロナウイルス感染症が季節性インフルエンザ等と同様の5類に変更され行動制限が無くなったことと円安によって、海外からのインバウンド需要が急回復しました。さらに、ロシア・ウクライナ戦争に続きパレスチナ・イスラエル戦争が勃発したことによる原油高の継続、地球温暖化による不作、最低賃金の上昇と人手不足を背景に大企業を中心に賃上げが行われ、コストの価格転嫁による幅広い物価上昇がありました。また新NISAなどの個人投資も増えたことで日経平均株価が史上初めて一時40,000円を超えています。このほか、ChatGPTなどの生成AIが普及しはじめましたが、不適切な学習データが混在する事や出力のコントロールにまだ課題が残っています。

社会分野では、元日に最大震度7の能登半島地震が発生し、被災地の一方向しかアクセスできない半島地形の影響で、道路や上下水道などのインフラ復旧の遅れと、片付けなどのボランティア活動の低迷が課題となっています。また政治資金パーティー収入の裏金問題では、その経緯が明確にならないなど政治家への不信が高まりました。一方で20代が活躍し、藤井聡太竜王・名人が将棋のタイトル戦で前人未到の8冠を達成。メジャーリーグでは大谷翔平選手が投手・打者として初の10勝・40本塁打を達成するなど「現実がフィクションを超えた」と言われました。

福祉分野では、令和4年度の合計特殊出生率が1.26と過去最低となり人口減少が課題になる中、4月1日にこども基本法が施行・こども家庭庁が発足し、こどもが自立した個人としてひとしく健やかに成長する社会の実現のために、結婚への希望から妊産婦・障害福祉・教育等を含む行政事務が一元化されることとなりました。さらに翌年の医療・介護・障害のトリプル改定に向けて検討がされ、障害福祉サービスでは処遇改善の一元化に加えて生活介護の時間設定や入所施設からの地域移行を含めた意思決定支援など、サービスの幅広い見直しがされました。

また能登半島地震では、被災地の避難所だけでなく比較的被害の少ない金沢にも1.5次避難所が設けられ、全国から介護職員等の派遣が行われました。

(2) 法人の概要

新型コロナウイルス感染症が5類となり、5月以降は一般社会と同様にご利用者の面会・行動制限を解除し、行事の実施などコロナ前のサービス水準に戻すことに取り組む一方で、職員を含めた来園者のマスク着用・検温・手指消毒や換気などの感染対策は継続しました。同様に、職員

間の交流を促進するための忘年会や余暇活動助成制度も復活させています。

10月には兵庫県の最低賃金が1,001円(+41円)に上げられたことで3,000円のベースアップと2月の処遇改善をしたほか、令和6年4月からのメンター制度の導入を決定しました。職員の配置基準は満たしていたものの、一時期は同性介助を行う男性職員が不足したために、残業等でカバーしています。

また、とろみサーバーの導入、デイサービスの特浴入替、入所のミスト浴槽の導入、老朽化に伴う水漏れ等の修理を行った他、社外理事が亡くなられたことに伴う役員交代、能登半島地震の被災地支援活動・職員派遣などを行っております。

会計面は新型コロナウイルス感染症による休業が減少したことで年間の通所利用者が微増し、最終的にサービス活動収益(売上高)が前年比0.8%増の約4億9123万円、当期活動増減差額(当期純損益)が同92%増の約1112万円となりました。

(3) 皆様からのご支援

以下のご支援を頂きました。この場を借りてお礼申し上げます。

誠にありがとうございました。

● 法人が頂いた補助金・助成金など

① 神戸市

- | | |
|-------------------|----------|
| 1. 施設整備資金等補助金 | 18万7265円 |
| 2. 重症心身障害者加算金 | 70万8千円 |
| 3. 物価高騰対策福祉施設等給付金 | 246万円 |

② 公益財団法人 神戸やまぶき財団 296万円

③ 公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団 173万円

● 寄付金

① 利用者ご家族 2万円

● ボランティアの皆様

施設行事として紙芝居ボランティア、盆踊りボランティアのほか、入所者の個人ボランティアとして傾聴、パソコン指導などにお越し頂きました。

2. 法人全体の事業

(1) 経営面について

- ① 引き続き、外部の公認会計士による会計指導を受けました。
- ② 中長期計画の実施に取り組みました。
- ③ 社外理事が亡くなられたため理事交代があり、女性理事 1 名を選任しました。

その結果、理事 6 名のうち女性 2 名 (33.3%)、社外理事 4 名 (66.7%) となっています。

(2) 人事面について

- ① 有給休暇はパートを含め使用が定着しています。正職員の使用率では 78.5% (前年比+4.7%)、平均残業時間は男性職員・看護師不足の影響もあり 2.3 時間/月 (前年比+0.7 時間) となり、2018 年度からのユースエール企業認定を更新することができました。
- ② 最低賃金の上昇を受け、10 月からの正職員給与を 3,000 円、パート時給を 20 円ベースアップする改定を行いました。さらに 2 月からは、新たな処遇改善に伴う固定的手当として正職員に月 5,000 円、パート職員に時給 30 円を追加しています。
- ③ 全ての正職員の誕生日を基準に、年 1 回の理事長面談を行い、1 年間の振り返りや法人の方向性の共有、職場の課題の相談、今後の目標設定などを行いました。
- ④ 公正な人事を行うための人事委員会を開催し、人事異動・賞与査定・懲戒処分について協議しました。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症が 5 類になったことを受け、職員同士のコミュニケーションを図るための「職員余暇活動等助成制度」 (@1,000 円×月 2 回まで) を再開し、延べ 109 名の利用がありました。
- ⑥ 法人負担・希望者のみ参加の形式で、6 月に職員交流会 (BBQ)、年末の忘年会を開催し、新型コロナウイルス感染症の制限期間に不足していた職員交流の場を設けました。
- ⑦ 職員が働きながら資格取得に取り組み、1 名が介護福祉士に合格しました。その結果、正職員の国家資格保有者は 81% となりました。(国家資格: 社会福祉士・介護福祉士・看護師・理学療法士・管理栄養士、正職員には技能実習生を含まず)
また、強度行動障害者支援者研修の受講を推進し、正職員の管理者・サビ管・生活支援員のうち 40.5% が取得しました。
- ⑧ バスのダイヤ改正で早朝・夜間帯の通勤バスが無くなったため、一部のケースで最

寄り駅までのタクシー通勤を許可しました。

(3) 報酬外の取り組みについて

- ① 入所者へインターネット環境の無料提供をしました。
- ② ご家族がおらず、自分で買い物が出来ない利用者に対し、無償で買い物代行をしました。
- ③ 身寄りのない高次機能障害を持つ地域の高齢障害者1名に対し、アパート契約の連帯保証人、銀行手続き、病院受診の送迎・付き添いなどの支援を無料で行いました。
- ④ ほっとかへんネット Kobe・西で「知って得する相談会」、「みんな仲よし玉津っ子」に参画しました。
- ⑤ 11月30日～12月1日に近畿地区身体障害者施設協議会研究大会で「とろみ自動サーバー導入のメリット」のポスター発表をしました。
- ⑥ 12月24日に障害者虐待防止学会で障害者支援施設の異性介護問題について、障害者支援施設としての発表をしました。
- ⑦ 1月に石川県で、能登半島地震で被害を受けた障害者支援施設への支援物資の提供、福祉避難所の状況確認等を行いました。
- ⑧ 1月19日に神戸市地域支援機能強化研修において、リバティ神戸の地域支援活動を発表しました。
- ⑨ 1月26日に神戸市西区社協「いきいきおやじ塾」の講座「ボランティア活動と障がい福祉サービス」で事業所活動紹介やボッチャ体験などの講師を派遣しました。
- ⑩ 3月8日～29日 石川県金沢市で、能登半島地震の1.5次避難所に職員3名(日中勤務、延べ12日間)を派遣しました。

(4) 情報公開について

- ① 法人のウェブサイトで決算書類などを積極的に公開しました。
- ② 事故・怪我・病気などについては、利用者のご家族・行政へ随時報告しました。

(5) 業務の改善について

- ① Microsoft365の全社配備を進め、社内ツールとしてteamsを導入してチャットによる連絡・共有とオンライン会議・ミーティング、インカムを活用しました。
- ② 昨年度までの会計・給与・年末調整システムをクラウド化に続き、給与明細のデジタル化を導入しました。
- ③ 公認会計士による指導を受け、会計業務の改善を致しました。

- ④ 本来の身体障害だけではなく、知的障害などの重複障害者のご利用が増加していることに対応するため、強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践研修）を全ての常勤生活支援員が取得するように受講を推進しました。（再掲）
- ⑤ 嚥下の安全のために安定した“とろみ”の作成と、業務効率向上のため、入所部門に「とろみサーバー」2台を導入しました。
- ⑥ 戸締りの自動化として、リバティ神戸正面玄関の自動ドアをスマートロック化しました。
- ⑦ 老朽化していたデイサービスの特殊浴槽を更新しました。
- ⑧ 高齢化・重度化により利用者が減少した入所の大浴槽を撤去し、安全なミスト浴槽と一人用浴槽に改装しました。
- ⑨ その他、リバティ神戸の老朽化対応として、水道水漏れに対する漏水箇所の調査と迂回配管、一部内装リフォームなどを実施しました。

（6）専門委員会の活動

- ① 虐待防止委員会
障害者に対する虐待を防止と人権啓発に取り組み、2ヶ月に1回の身体拘束適正化評価や年2回の研修を実施しました。
- ② 災害対策委員会
災害・感染症等に対する減災と業務継続に取り組み、BCP マニュアルの見直しや防災備蓄の更新、図上訓練を行いました。
- ③ 事故防止委員会
介護や日常生活での事故防止に取り組み、事故防止マニュアル作成や AED 研修などを行いました。
- ④ QOL 委員会
障害者の生活の質の向上に取り組み、職員の接遇状況調査などを行いました。
- ⑤ 品質管理委員会
業務状況の適正調査と改善提案に取り組み、各部署のマニュアルの使用状況の確認や更新の助言などを行いました。
- ⑥ 栄養ケア委員会
栄養ケアマネジメントと食生活の向上に取り組み、とろみサーバーの導入や口腔ケアの意識向上、嚥下状態の評価などを行いました。
- ⑦ 広報・PR 委員会
社会に対し法人の考えや活動を伝えることに取り組み、web サイトの更新、求職者に向けた会社説明の改善などを行いました。

(7) 福祉団体を通じた地域公益活動について(一部再掲)

① 神戸市内

神戸市西区自立支援協議会(KOBE WEST NET)、ほっとかへんネット Kobe・西、
神戸市身体障害者施設連盟

② 兵庫県内

兵庫県身体障害者支援施設協議会、兵庫県社会福祉施設経営者協議会、兵庫県
社会福祉議会

③ 広域・全国

近畿地区身体障害者施設協議会、全国身体障害者施設協議会、全国重症心身障
害日中活動支援協議会、孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム

その他各事業所の詳細については、以降各章の通りです。

当法人と施設運営に対しご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

3. 障害者支援施設リバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 リバティ神戸2~3階
施設種別及びサービス種類／定員	障害者支援施設 <ul style="list-style-type: none"> ● 施設入所支援 52名 ● 生活介護 57名 ● 短期入所 (5名・併設型) ● 自立生活援助
居室	1人部屋 5室 2人部屋 26室 (計57床)
主な対象者	18歳以上の身体障害者で施設に居住される方。 自立生活援助は、西区・垂水区・明石市で一人暮らしの障害者
営業日	年中無休。
営業時間	<ul style="list-style-type: none"> ● 施設入所支援 午後5時から翌午前9時まで ● 生活介護 午前9時から午後5時まで ● 短期入所 午前9時から翌午前9時まで ● 自立生活援助 午前9時から午後5時まで

(2) ご利用状況について

施設入所支援・生活介護のご利用者

年度初めの入所者48名から1年間で入所5名・退所3名があり、最終的に年度末では50名でした。その結果、施設入所支援の利用者が延べ1万8437名(前年比+24名)となりました。

年度末における入所ご利用者の年齢構成は、24歳から80歳であり、60歳以上の方が26名(前年比+1名)で全体に占める割合が52%、平均年齢は57.7歳(前年比±0歳)で、昨年度と平均年齢に変更はありませんでした。男女の比率は男性が23名、女性が27名です。施設報酬区分の基礎となる平均障害支援区分は施設入所支援及び生活介護が5.9(前年と同じ)となっております。

短期入所のご利用者

利用人数は延べ515名(前年比-143名、-78%)、営業日数287日でした。平均障害支援区分は5.8(前年比-0.1)です。

昨年5月に短期入所利用者から新型コロナウイルスが確認されクラスターとなったことで一時受け入れできない期間があったことと、インフルエンザ予防などの対応により制

限を設けていたことで昨年度より利用人数が減少となりました。

自立生活援助のご利用者

令和2年11月からサービスを開始しました。当初予定していた一人暮らしの障害者（リバティ神戸から退所）の方については、高齢で介護保険の優先利用のために支給決定を受けることが出来ず、補足的に定期的な病院受診等の無償支援を行っています。また新規利用者の募集については、職員の余力が少ないため、やむを得ず中断している状況です。

(3) サービスの内容

下記の通りサービスを実施いたしました。

日常のスケジュール

7:00	起床・洗面・着替え	理学療法	随時(月～金曜)
8:00	朝食・歯磨き・服薬	言語聴覚士	毎週2回
9:00	体操・清掃	医師回診	毎週1回(水曜)
10:00	水分補給	シーツ交換	毎週1回(週末毎)
10:30～ 11:30	入浴(月火木金 機械浴)※	カップ漂白	毎週1回(日曜)
12:00	昼食・歯磨き・服薬	体重測定	月1回
13:00～	入浴(月・火・木・金 一般浴、機械浴)※	買い物代行	毎週1回(木曜)
15:40頃	喫茶コーナー	パン訪問販売	毎週1回(金曜)
14:00	水分補給	理容訪問サービス	月2回
18:00 18:30	夕食・歯磨き・服薬	洗濯	毎日
夕食後	非入浴者清拭・着替え	お菓子作り	2ヶ月に1回程度
19:00	水分補給	外出支援	誕生日月に買い物外出 毎週1回(火曜)
20:00	眠前薬服用	訪問口腔ケア活動	
22:00	消灯・就寝		

※夏季については、週3回入浴です。

年中行事／クラブ活動

4月	お花見(5日) 避難訓練(10日) 四季祭り(18日) お菓子作り(26日)	<p>月例行事 (毎月1回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誕生日会・茶話会 ・散髪(月2回) ・各委員会活動 ・入所者自治会(ハイビス会) ・日中活動(週2~3回) カラオケ 映画鑑賞 レクリエーション 工作活動 音楽レク 生け花 脳トレ など
5月	低カロリーお菓子作り(31日)	
6月	スポーツレク (3.10.17.18.24日) お菓子作り(28日)	
7月	七夕会(5日) 健康診断(14日) 四季祭り(19日) 低カロリーお菓子作り(22日)	
8月	夏祭り(19日) お菓子作り(23日)	
9月	防災イベント、防災食(1日) 低カロリーお菓子作り(27日)	
10月	避難訓練(4日) 四季祭り(12日) お菓子作り(25日) BBQ(28.29日)	
11月	レストランメニュー(4日) 低カロリーお菓子作り(29日)	
12月	クリスマス会(16日) 年越し(31日) 健康診断(8日)	
1月	元旦(1日) 新年会(10日) 四季祭り(17日) 低カロリーお菓子作り(24日)	
2月	節分(3日) V.Dお菓子作り(14日)	
3月	避難訓練(27日) W.Dお菓子作り(13日)	

コロナが5類となってからは大勢での遠足などの外出支援ではなく、個別の外出から再開し、ボランティアの受入れも再開しています。

縮小していた夏祭りやクリスマス会などについても人数制限を設けながらご家族等にも参加していただき、お食事などを楽しんでいただきました。

健康管理

- ① 利用者の健康管理に関しては毎週水曜日の嘱託医師診察と、火曜日の歯科医の口腔ケア、年2回の健康診断を実施すると共に、必要な場合は適時受診を行い体調の維持に努めております。
- ② リハビリでは、平日(月～金曜日)に理学療法士による機能訓練を実施に加え、週2回の言語聴覚士による訓練を実施しました。
作業療法士が不在のため、相談員が内容を引継ぎ毎週火曜日に創作活動を実施しています。

食事の提供

管理栄養士によって随時メニューを変更し、大量調理マニュアルに添いながら、出来るだけ利用者の嗜好に合った食事の提供を心がけました。

嚥下機能が低下しトロミを使用する方が多くなってきたことからトロミサーバーを導入し、均一にトロミをつけて安全に飲用していただけるよう取り組んでいます。

嚥下状態が悪い方への支援を行っていることから医師の指示のもと、新たに経口維持加算や口腔衛生管理加算等の取得にも努めています。

4. 身体障害者デイサービスセンターリバティ神戸 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区伊川谷町潤和2-2 リバティ神戸 1階
施設種別及びサービス種類／定員	指定障害福祉サービス事業所 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う18歳以上の身体障害者
営業日	月曜～金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業
営業時間	午前8時30分から午後5時30分まで (サービス提供時間は午前9時から午後3時10分まで)
送迎車両	ワンボックス4台(車いす仕様)

(2) ご利用状況について

ご利用者

1年間の生活介護利用者数は営業日数249日に対し延べ3,583名(前年比+254名)、1日平均14.3名(前年比+0.8名)でした。

生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、19歳から55歳です。

男女の比率は男性が18名、女性が9名となっております。

平均障害支援区分は5.8(前年比+0.1)でした。

支援学校卒業の新規利用者を3名迎え、その内2名が女性で男女比率が多少ながら埋まっています。また、知的障害の支援学校から利用者を迎え入れることができ、今後の卒業生の受け皿となる道筋を増やすことができたと思われまます。

(3) サービスの内容

介護・食事・訓練・入浴・送迎など在宅者に向けた生活介護サービスを実施しています。日中活動には力を入れており、午前中は個別支援計画に添って個別活動を行い、午後は想像力や感情表現を豊かに養っていただけるようにグループ毎に分かれてそれに因んだゲーム等を行い、集団活動を愉しんで頂きました。

開設当初より使用していた特殊浴槽を老朽化により更新。(11/7)新しい浴槽と安全装置の充実により、入浴を楽しみにされる方がおられます。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練 週4回(火~金曜) 体重測定 2ヶ月に1回 パン訪問販売 毎週1回(金曜) 理容訪問サービス 2ヶ月に1回 更生・健康相談 随時 御家族との面談 半年毎
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 支援計画に沿った個別活動 社会適応訓練・創作活動	
11:30	昼食・歯磨き・服薬	
12:30	リラックスタイム レクリエーション・社会適応訓練・ 入浴・創作活動 支援計画に沿った個別活動	
15:10	送迎開始	
17:30	業務終了	

年中行事

4月	四季祭り(18日)	月例行事 ・誕生日会(毎月1回) ・ビデオ鑑賞会(随時)・カラオケ(随時) ・デイサービス便りの配布(毎月1回)
5月	母の日のプレゼント作り	
6月	父の日のプレゼント作り デリバリーランチ会(8日・14日・20日)	
7月	七夕ゲーム大会(4日・5日) 四季祭り(19日)	
8月	夏祭り(3日・4日)	
9月	防災イベント・消火訓練(1日)	
10月	四季祭り(12日) ハロウィン(24日・25日) 避難訓練(11日)	
11月	デリバリーランチ会(2日・8日・10日)	
12月	クリスマス会(14日・15日)	
1月	四季祭り(17日) 初詣(17日・19日) カルタ大会(10日・11日)	
2月	節分イベント(1日・2日)	

3月	ひな祭りお菓子作り(1日) 避難訓練・消火訓練(27日)	
----	---------------------------------	--

コロナが5類になったことにより、以前と同様とまではいきませんが、少しずつ外出やクッキングなどの行事も再開することが出来ました。

5. はみんぐ 事業報告

(1) 事業所の概要

所在地	神戸市西区和井取 1-12
施設種別及びサービス・定員	指定障害福祉サービス事業所 生活介護 20名
主な対象者	神戸市西区・明石市の一部の自宅から通う18歳以上の身体障害者
営業日	月曜日から金曜日まで。その他、年末年始・盆・臨時に休業。
営業時間	午前9時から午後3時まで
指定年月日	指定障害福祉サービス事業所 平成25年5月1日
送迎車両	ワンボックス4台

(2) ご利用状況について

1年間の生活介護利用者数は営業日数249日に対し延べ 3,473名(前年比+58名)、1日平均 13.9名(前年比-0.7名)でした。生活介護の年度末における利用登録者の年齢構成は、18歳から55歳の若い方が中心で平均年齢は30.5歳、男女の比率は男性が17名、女性が23名となっております。

平均障害支援区分は 5.9(前年比±0)と、昨年度と同様に医療的ケア(吸引、吸入、胃ろう、導尿など)の重度者割合が高くなっています。

(3) サービスの内容

- ・午前は創作活動や個別支援計画に基づいた活動、午後は毎日集団レクリエーションを実施しました。
- ・感染予防対策強化の為、受け入れを中止していたボランティア活動者との共同レクリエーションを再開しました。また、西区ボランティアセンターと共同で、ボランティア養成講座を企画し利用者と参加しました。
- ・ランチ外出を実施しました。
- ・西区自立支援協議会当事者ネットワーク主催のワールドカフェに希望利用者と参加しました。
- ・ご家族対象に『施設入所ってもう考えとかなあかんの?』と題し、勉強会を開催しました。(参加者10名、講師:施設入所支援課長)
- ・理学療法士による訓練を3月から再開しました。
- ・はみんぐと、法人別事業所のリバティ神戸で短期入所を併用されている利用者の送迎を行いました。

日常のスケジュール

8:30	送迎開始	機能訓練	週4回
9:00 (到着後)	健康チェック・入浴 レクリエーション 社会適応訓練・創作活動	体重測定 更生・健康相談 御家族との面談	2ヶ月に1回 随時 半年毎
12:00	昼食・服薬・口腔ケア		
13:40	レクリエーション・社会適応訓練・創作活動・支援計画に沿った個別活動		
15:00	送迎開始		
17:30	業務終了		

年間行事

4月	お花見散歩	月例行事 ・誕生日会 ・はみんぐ通信配布(毎月1回) ・紙芝居ボランティア活動受け入れ
5月		
6月	パン購入(金曜希望者のみ)	
7月	パン購入(金曜希望者のみ) 夏祭り(27日28日)	
8月		
9月	防災イベント、避難訓練(1日)	
10月	ランチ外出	
11月		
12月	忘年会(25日・26日)	
1月		
2月	お菓子作り(12日~15日)	
3月	避難訓練(28日)	